

## 訪問した5校(高校)の概要

訪問した学校	特 徴
<p>北京中学校</p> 	<p>2013年9月、朝陽区に設立された公立中学校。「国際化、現代化、高品質」を志向する。学科研究クラスとプロジェクト制の学習グループで自主管理能力を伸ばす教育を展開。5年後を目途に近隣に新校舎を建設予定。</p>
<p>北京第二中学校</p> 	<p>故宮博物館の東、北京の中心街に東城区に位置する清朝時代から続く、創立300年の伝統校。国際交流が盛んで、長崎県立長崎北高校や福岡県立筑前高校と姉妹校提携している。生徒数:1500人(2019年)</p>
<p>北京第十二中学校</p> 	<p>北京市南部、2020年に関連する13の学校を統合して生まれた総合学校の本部校。「ハイエンド授業準備」プロジェクト学習を実施した最初の学校で、生態と環境、超伝導技術などの施設がある。生徒数:1890人(2019年)。</p>
<p>北京<small>ろか</small>潞河中学校</p> 	<p>通州区にあり、1869年に創設という歴史的な校舎が多く残る。"すべては祖国のために"という校訓の下、「人間本位と社会本位の一致」「生徒の発展のための学校運営」を堅持。多様で開放的な雰囲気を持つ。</p>
<p>北京<small>ちんけいりん</small>陳経綸中学校</p> 	<p>1921年桜美林学園創始者の清水安三夫妻が女子教育の充実をめざし、朝陽区に創立した学校が母体。香港の企業家である陳経綸が私財2千萬元を投資して改築。1991年から現在の校名となる。生徒数:2000人(2019年)。</p>

\*現地での説明および各校のFacebook、維基百科、百度百科などにより石飛作成。